第31回優秀経営者顕彰

きょう贈賞式

日刊工業新聞社がこのほど決定した「第31回優秀経営者顕彰」の贈賞式が、きょう16日、東京・飯田橋のホテルグランドパレスで行われる。同顕彰制度は優れた経営手腕により企業を成長させ、日本経済の発展と地域社会に大きく貢献したモノづくり関連の中堅・中小企業の経営者を顕彰する。今回で31回目を迎え、総受賞者は504人を数える。

最優秀経営者賞に山井氏

優秀経営者顕彰の選考対象は、創業10年以上経過し、資本金5億円未満もしくは従業員1000人未満の非上場の中堅・中小企業経営者。地方自治体および産業経済諸団体、各地域の産業人クラブまたは金融機関、日刊工業新聞社の推薦のもとに、選考委員会（椎名武雄委員長＝日本IBM名誉相談役）が候補者を審査し、受賞者29人を決定した。

各賞の受賞者には日刊工業新聞社から表彰盾が贈られる。

最優秀経営者賞

スノーピーク社長　山井　太氏

1986年、スノーピークに入社。アウトドアをライフスタイルと捉え、同社をオートキャンピングブランドとして確立させた。

日本、米国、韓国、台湾に82店舗の直営店、インストアを設け、世界で展開する。2011年には新潟県三条市にキャンプ場と本社機能を併設させた「ヘッドクォーター」をオープンした。

企業理念である〝The Snow Peak Way〟のもと、革新的な製品の開発を行い、徹底的にユーザーの立場に立った製品やサービスを提供し続け「スノーピーカー」と呼ばれる熱狂的ファンを獲得してきた。「世界で一番顧客に近いメーカー」と称されている。

大手メーカーの下請けとして加工を行ってきたが、採算は悪化。2006年に研究開発部門は残しつつ、海外メーカーに技術提供し、品質を確保した委託生産・輸入販売に切り替えた。難しい経営判断ながら自社の技術を継承させた結果、順調に業績を伸ばしている。

受賞者の横顔

優秀経営者賞

アイレ会長　荒江　一氏

カメラ用レンズの切削・研磨のノウハウをプラスチックレンズの加工に転用し、コンタクトレンズ業界に進出した。コンタクトレンズメーカーの草分け的存在となる。

ファインフーズ社長　西村　正彦氏

食の安全性が求められる時代を予見し、創業当時から天然調味料、天然香辛料を製造・開発する。無駄に廃棄された食料品を活用し、コストを抑えながら環境にやさしいモノづくりを行い、アイデアを製品化する技術志向型の企業に成長させた。

女性社員の役職就任や、シニア世代が働きやすいよう体への負担が少ない作業環境を整備するなど、ダイバーシティ（多様性）の推進にも積極的に取り組む。

オーティス社長　佐山　修一氏

両面テープ、フィルムなどの機能性材料を多層構成で精密プレス加工する。携帯電話・スマートフォン部品や、デジタル家電・自動車・医療機器関連など幅広い分野に供給。精密加工技術を要する金型の設計・製造、オリジナル加工装置の設計・開発に取り組み、オリジナリティーある製品を開発する。

また、地元商工会の理事を務めるほか、地域の人材雇用・育成にも力を入れ、地域社会の発展に積極的に取り組む。

アサヌマコーポレーション社長　麻沼　雅海氏

鉛筆型眉墨を開発し、化粧品製造に着手。化粧品のOEM（相手先ブランド）として粧材の開発・製造を行う。オリジナル容器の開発にも取り組み、商品をトータル提案する。高品質な製品づくりの実現に向け、技術開発の向上に取り組み、国内外の化粧品メーカーから高い評価を得ている。

中国に生産拠点を持ち、アジア市場に重点を置く。グローバルな視点を持って研究開発に取り組み、国際企業への発展を目指す。

優秀創業者賞

櫻井会長　櫻井　昭三氏

良質な杉材の産地である奈良県吉野の伝統を守りながら新たな技術を追求し、企業の発展と木材業界の地位向上を支えてきた。創業時から集成材に着目し、安価で構造上の強度が十分に確保され、見た目にも美しい良質材を提供する。

安定した業績を背景に、設備投資による生産性の向上を図る。大手ハウスメーカーなどの顧客からの信頼も厚い。

創業者として経営に携わり、従業員の育成にも取り組む。

タナカ相談役　田中　豊氏

1960年の公職選挙法改正をきっかけに選挙掲示板の製造・販売に着手した。再生可能な資材を製造するなど高い品質が評価され、全国の市町村から受注がある。

関散期対策にビジネスフォーム印刷にも取り組み、最新鋭の機材を導入して他社との差別化を図り、現在では経営の柱となる事業に成長した。

また、〝開発なくして成長なし〟の信念のもと、選挙掲示板のノウハウを生かし、住宅関連の接合金具にも取り組む。

富士タルク工業会長　富森　正氏

製紙、医薬品、塗料などさまざまな産業分野に不可欠な添加剤であるタルク（滑石）。タルクは大手商社を介した中国からの輸入が主体で、以前はメーカーが独自に調達することは困難だった。

そんな中、単身で中国に乗り込み、タルク鉱山を視察し、確かな品質の原料を自らの手で輸入。原料からの一貫製造体制を作り上げ、原材料の安定調達・供給を実現した。

先見性と行動力で企業を発展させ、日本の製造業を支えてきた。

シェリエ代表取締役　髙橋　博氏

菓子職人の経験から、焼き菓子のOEM（相手先ブランド）生産を行う。高温加熱が必要で内製化が難しいバウムクーヘンに商機を見いだし、創業。

製造方法の研究や機械の改造などを続け、繊細な材料配合、熱加減などが要求されるホテルや専門店向けの洋菓子量産化を実現。安定した業績を維持している。

中国の現地菓子メーカーへの技術供与や、飲食複合施設を併設した新工場に着手し、新たな市場開拓を進める。

研究開発者賞

アサダ会長　浅田　一吉氏

ネジ切り機、フロン回収・再生・分解装置などの製造・販売を行う。市場動向、社会のニーズをくみ取り、社会文化に貢献し、環境問題に対応する製品開発を強化。

〝新基盤技術の再構築〟をモットーに、研究開発に力を入れてきた。

技術アドバイスとメンテナンスを重視し、顧客との信頼関係を築く。また、大学や研究機関と共同研究を行い、新たな製品を開発する。

愛知県鉄工連合会会長を務め、地域の発展にも尽力する。

青年経営者賞

日研工業社長　中山　要秀氏

食品スーパー向け商品の価格表示器、ポップ掲載器具、商品展示台などの販促備品全般の製造・販売を手がける。現場に密着した企画営業を行う提案力を強みにし、価格以上の機動性を持つ食品スーパーの業務に精通した製品がそろう。

創業者である祖父から経営を引き継ぎ、31歳で社長に就任。収益下降傾向の厳しい中で、全国の販売網の整理統合・拡充、利益率重視の経営への構造転換、営業強化を図り、今後の成長が期待される。

女性経営者賞

富士電子工業社長　渡邊　弘子氏

自動車、工作機械など向けに高周波熱誘導加熱装置の製造・販売、熱処理加工を行う。技術力のアピールに終始していた営業スタイルを、顧客のニーズを重視したアプローチに切り替えた結果、業績が飛躍的に成長。

研究施設の新設、ISO14001の取得、中国現地法人の設立、社内の組織再編などの改革を行い、リーマン・ショック後の景気悪化から成長軌道を取り戻した。

実績が評価され、創業者である父から社長を引き継ぐ。

第31回優秀経営者顕彰 ―受賞者―

最優秀経営者賞

山井　株式会社 スノーピーク　社長　太
〒959-0147　新潟県三条市中野原四五六　☎0256(46)5858

優秀経営者賞

荒江　株式会社 アイレ　会長　一
〒170-0013　東京都豊島区東池袋一―三三―八　☎03(5988)0081

西村　ファインフーズ株式会社　社長　正彦
〒593-8211　大阪府堺市西区鳳北町九―六　☎072(264)7790

佐山　オーティス株式会社　社長　修一
〒719-3221　岡山県真庭市中原二〇二―一三　☎0867(42)3690

麻沼　アサヌマコーポレーション株式会社　社長　雅海
〒164-0014　東京都中野区南台三―三七―一九　☎03(3383)0511

優秀創業者賞

櫻井　株式会社 櫻井　会長　昭三
〒639-3111　奈良県吉野郡吉野町丹治一五―一　☎0746(32)0563

田中　株式会社 タナカ　相談役　豊
〒300-0115　茨城県土浦市藤沢三四九五―一　☎029(862)1234

富森　富士タルク工業株式会社　会長　正
〒540-0026　大阪府大阪市中央区内本町一―二―一四　☎06(6943)9530

髙橋　株式会社 シェリエ　代表取締役　博
〒367-0213　埼玉県本庄市児玉町秋山二六八三―一　☎0495(72)0633

研究開発者賞

浅田　アサダ株式会社　会長　一吉
〒462-8550　愛知県名古屋市北区上飯田西町三―六〇　☎052(911)1207

青年経営者賞

中山　日研工業株式会社　社長　要秀
〒171-0014　東京都豊島区池袋二―二三―六　☎03(5391)3031

女性経営者賞

渡邊　富士電子工業株式会社　社長　弘子
〒581-0092　大阪府八尾市老原六―七一　☎072(991)1361

地域社会貢献者賞

三浦　株式会社 三浦造船所　会長　政信
〒876-0011　大分県佐伯市大字鶴望四九〇〇　☎0972(22)0333